

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

### 2. 入場・受付について

	入場ゲート
選手	Cゲートより入場
競技役員	1Fエントランスより入場し、学校・役員受付
引率責任者 同伴者	Cゲートより入場

### 3. 競技会場入場について

\* 引率時、P1前または補助競技場前での選手の乗降は禁止です。大変危険なので厳守してください。

<開門時間>

メイン競技場	Cゲート 7:30
補助競技場	7:30

<利用可能箇所>

	入場ゲート	競技場	補助競技場
選手	Cゲート	メインスタンド・1F通路	利用可
競技役員	1Fエントランス	競技役員控室 メインスタンド・1F通路	利用可
引率責任者 同伴者	Cゲート	メインスタンド	利用不可

### 4. 招集について

- (1) 招集は**現地招集**とする。点呼を受けない者は棄権とみなす。
- (2) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始30分前	競技開始20分前

<招集の手順>

- ・ 招集を受ける時は競技服装になっておくこと。  
その際に、アスリートビブス(胸背腰)及びスパイクシューズの点検を受ける。
- ・ この招集を受けなかった選手は失格になる。
- ・ アスリートビブス(胸・背・腰)は招集までにつけておくこと。

### 5. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) (着順ではなく)時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。  
[TR21.2]
- (3) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks(位置について)」または「Set(用意)」の合図の後、音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。  
[TR16.5.3]
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (7) フィールド競技のマーカー(主催者が準備したもの、または承認したもの)を、2個まで使うことができる。  
マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。[TR25.3.1]
- (8) サークルから行うフィールド競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。  
[TR25.3.2]
- (9) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。

### 6. 競技による入退場について

- (1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。(すべてダグアウト及び1F通路を利用すること。)
- (2) トラック競技の競技者は走り終わった者はバックストレート側ダグアウト及び1F通路を通り、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。(※1F通路はスパイクを脱ぐこと)
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

### 7. アスリートビブス(胸・背・腰)について

- ・ アスリートビブス(腰)は各チームで用意すること。(800m以上の種目を除く)。
- ・ 800m以上の種目は雨天練習場ナンバーカード係で貸し出す。競技終了後は、ゴール地点返却かごに戻すこと。
- ・ 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス(胸・背)をつけなければならない。
- ・ 跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでよい。

- ・ アスリートビブス(胸・背)は通常はスタートリストに記載のものと同じナンバーでなければならない。
- ・トラック競技出場者は、アスリートビブス(腰)をランニングパンツ右側上部やや後方につける。

8. 用器具について

- ・ 競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいけない。

9. 記録について

- ・ 大会当日、記録については、電光掲示にて行う。貼り出しは行わない。
- ・ 記録に関してはアスリートランキングHPで行う。 <http://www.athleteranking.com/>
- \* アクセス集中時は閲覧を制限することがある。

10. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (3) 競技場周辺での練習は禁止する。
- (4) ハードル練習について
  - ・サブトラックにて招集開始時刻1時間半前より設置するので、それを使用すること。
- (5) 投擲の練習会場は設けない。

11. 走高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技										
走高跳	男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	…	以上	3cmずつ
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	…	以上	3cmずつ		

\* 当日、練習・競技開始の高さは変更する場合がある。

12. WA規則第143条(TR5:シューズ)の対応について

- ・ 大会はWA規則第143条(TR5:シューズ)を適応する。
- ・ 規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。
- \* WA承認シューズリストは随時更新されているため、よく確認をしておくこと。

13. 競技場使用について

- (1) 競技場の開門時刻は7時30分とする。
- (2) 役員控室専用通路は、役員・選手共に通行可能とする。
- (3) **更衣室の利用ができるが、場所取りをしたり、長時間利用しない。**
- (4) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (5) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (6) 選手・引率責任者は、メインスタンドを利用し、**感染症対策や熱中症対策を各自で行うこと。**
- (7) サイドスタンド・バックスタンドへは立ち入らない。
- (8) 選手が競技場内にて携帯電話等電子機器を利用・撮影を行わないこと。
- (9) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。

14. リレー競技について

- ・ オーダー用紙については受付時に顧問が受取り、提出すること。
- ※ 招集開始1時間前までに顧問が本部記録係へ提出すること。

15. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 競技場周辺での場所取りや、待機場所として使用することは禁止とする。
- (3) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (4) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (5) 発熱や体調不良がある者や**暑さに対して不安がある者の大会出場については慎重に判断すること。**
- (6) リザルトはWeb及び電光掲示板に掲載する。
- (7) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。
- (8) 競技会当日、午前6:00に神戸市に気象警報(波浪以外)が発令された場合は中止とする。
- (9) **競技会当日、暑さ指数が31を超えた場合、大会を中止することがある。**
- (10) **1階ロビー受付にて、大会出場料を支払うこと。**



スタンド及びコンコースは、譲り合って利用すること。

- 利用禁止場所
- 利用禁止区域
- 各種目スタート・競技場所
- 利用禁止

- 競技場利用の注意
- 各自で熱中症対策を講じること
  - 日陰などでは譲り合って利用すること
  - 競技場内での携帯電話等電子機器の利用禁止
  - ごみは必ず持ち帰ること  
(トイレ等にも放置しない)

バックスタンド・サイドスタンド利用禁止

# 1F各部屋 利用方法

## 駐車場 P1

エントランス入口

E会議室	F会議室	ロッカー室	事務所	1F エントランス	倉庫	階段	男子ロッカー	女子ロッカー	トイレ 使用可
使用禁止	使用禁止	使用禁止			エレベーター		使用可	使用可	
					医務室				
					G会議室				
					使用禁止				

役員控室専用通路 ← 選手通行可 →

補助競技場へ

A会議室	B会議室	C会議室 西	C会議室 東	中央ロビー		防災センター	トレーニング(雨天練習場)	D会議室
使用禁止	競技役員 控室	記録員	総務員 技術総務 審判長	庶務係 ※役員受付 ※学校受付	リレー オーダー 受付 ※試合出場料支払い		アスリートビブス(腰)係 Noカード	使用禁止

※主任会議(7:45~) C会議室東

用具倉庫
用器具係

写真判定室
写真判定係

電光掲示室
電光掲示係 アナウンサー

補助競技場